

(1) この単元では、『主語』と『述語』について学習します。まずは、『主語』と『述語』について復習しましょう。(2) 二年生で学習しています。

○主語
「だれが」「何が」をあらわす言葉。

○述語
「どつする」「どんなだ」「なんだ」をあらわす言葉。

(問) 次の文の「主語」に線、「述語」に二重線を引きましょう。

- ① 林さんが当番だ。
- ② あれがいわし雲だ。
- ③ 先生が話す。

(2) 次の文の主語と述語を抜き出してみよう。

ぼくの将来の夢は、みんながよろこんでくれるゲームを作りたいです。

主語	述語

※この場合、主語を「夢は」、ぼくの将来の夢は()、述語を「作りたいです。」(ゲームを作りたいです。)()にすると、「夢は作りたいです。」と不自然な文になります。このような「()を」主語と述語が対応していない「言います。つまり、この文は主語か述語を書き直す必要があるあやまった文章です。

(3) のように書き直すときを考えましょう。主語はそのままにして、主語につながる述語を書き込みましょう。

ぼくの将来の夢は、みんながよろこんでくれるゲームを 。

困ったときのヒント――

◎主語を「ぼくの将来の夢は」とすると、何が将来の夢なのかといえ
ば、「ゲームを○○○○。」ですわね――

「作りたいです。」の述語を変化させると自然な文になりますわね――

(4)次に、述語の「なりたいです。」「をそのままにし、主語の「私の将来の夢は」を書き直してみましよう。

、将来、みんながよろこんでくれる
ゲームを作りたいです。

困ったときのヒント…

◎「ゲームを作りたいのはだれか」ということを考えて主語を直せば、
主語と述語が対応した文になります！

※このような文のあやまりは、みなさんの書いた文章にもみられるかもしれませんが。文章を書き終わったら、主語と述語が正しく対応しているか、よく見直してみましよう。

(5)教科書六十五ページ下段の問題をやりましよう。

①

②

③

(6)今日の学習をふりかえってみましよう。(ぜひメモ帳になったりとかあったりとか書いてみましよう。)